東上総教育事務所だより

〒297－0024　茂原市八千代 2-10
千葉県教育庁東上総教育事務所
TEL　0475-23-8125　FAX　0475-25-3143
第５号
2012年3月2日(金)発行

全体計画・年間指導計画作成は，何のため？

旅人が，３人のレンガ職人に出会った。旅人は，それぞれの職人に「何をしているのですか？」と尋ねた。
Ａの職人は，疲れ切った顔で「見ればわかるだろう。レンガを運んでいるのさ。」と力なく答えた。
Ｂの職人は，Ａの職人よりは元気よくレンガを運びながら，「壁をつくっているんだよ。」と答えた。
Ｃの職人は，誰よりも輝いた表情でレンガを運びながら，「皆を救う，大聖堂を建てているんだ！」と答えた。
（イソップ寓話「３人のレンガ職人」より）

「レンガを運ぶ」という仕事は同じでも，この３人の仕事に対する取り組み方の違いを生んだのは何でしょうか。

現在，来年度のカリキュラム作成（改善）の真最中かと思います。カリキュラムを，単なる「紙キュラム」にとどまらせないためにも，その目的を今一度確認し合い，ＰＤＣＡサイクルの活性化・確立に努めましょう。

地域との連携を深める防災教育公開（山武：睦岡小）

１月１８日（水），山武市立睦岡小学校で「地域との連携を深めるために」をテーマに防災教育研究会が行われました。これは，県の指定を受け，保護者や地域の方々と共同で子どもたちの防災教育に取り組む事業です。

当日は，特別活動・総合的な学習の時間・生活単元・生活科と各学年で児童の実態にあった教育を展開しました。保護者だけでなく，地域の人材をパネリストに立ててディスカッションを行ったり，地域コーディネーターから講話をいただいたりと多様な実践が展開されました。

熱心に実験に取り組む睦岡小の児童たち

授業展開後の基調講演では，東京大学地震研究所の大木聖子先生から東日本大震災のプレートテクトニクス論による解明や，今後かなりの確率で予想される首都圏直下型地震についての備え等，参考になるばかりでなく身の引き締まるお話をいただきました。

「いきいきちばっ子健康・体力づくりモデルプラン」認定式―南白亀小

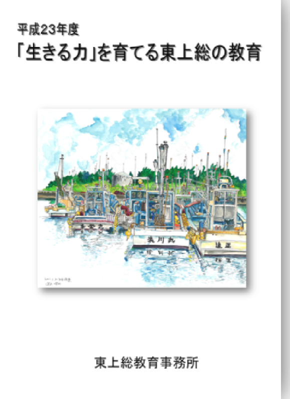
千葉県教育委員会では，子どもの健康問題解決に向けて，学校・家庭・地域が一体となって，子どもたちの基本的な生活習慣などの育成を図る**「いきいきちばっ子健康・体力づくり推進事業」**を展開しています。

管内では，**白子町立南白亀小学校**の取組が認められ，２月１３日に，認定式が行われました。今後も，こうした取組が継続されるとともに，管内にも広がっていくことを期待します。

認定書を受け取った児童達

「東上総の教育」をご活用ください

例年，年度末に指導室から各学校へ配付している冊子『東上総の教育』ですが，今回は，日々の実践等において，より効果的に活用していただくために，**次年度の校長会議で配布いたします。**ぜひ新しいお立場の視点でご活用ください。



県HP「不祥事防止についての教育長緊急アピール」

「今ほど，皆さん一人一人の言動や姿勢が，県民の方々から厳しく問われているときはありません。」

千葉県教育委員会のホームページには，鬼澤佳弘教育長による「不祥事防止についての緊急アピール」が掲載されていますが，ご覧いただけたでしょうか。

これに伴い，３月全小・中学校において「不祥事根絶研修会」が行われることになっています。自らの行動に対しては，**「家族に胸を張って話せるか。」「見つからなければ大丈夫だと思っていないか。」「第三者として新聞で見たらどう思うか。」**と常に自問し，行動してください。

県民からの信頼回復のために，皆で不祥事根絶に取り組みましょう。

今年度の長期研修生（８名）にうかがいました！

千葉県では，現職教員に対し，学校現場を離れて長期間の研修機会を与え，県・地区のリーダーとして本県教育の推進者となる人材を育成することを目的に，長期研修を実施しています。

東上総管内では，今年度は８名の小・中学校の教諭が長期研修を行いました。

①氏名　所属　研究領域
②研究テーマ
③研究概要（成果等）
についてお答えいただきました。

① 宮﨑千代美　大多喜町立老川小学校　国語
② ねばり強く考えて書く子を育てる国語科学習に関する研究－老川小の昔を調べて書く研究報告文づくりを通して－
③ 情報を活用し考えたことを効果的に書く力の育成を目指し，学校の昔を調べて書く研究報告文づくりを行いました。その結果，様式に則ってねばり強く考えて書く力を高めることができました。

① 金綱秀樹　いすみ市立東海小学校　社会
② 事実判断と仮説的推論を効果的に組み合わせることで社会認識力の育成を目指す歴史学習の在り方
③ 地域教材を活用し資料の事実判断を明確に行わせ，マインドマップを使い既知と未知を整理しながら仮説的推論を立てて，学習に取り組ませました。その結果，児童の社会認識力を育むことができました。

① 北田秀夫　白子町立白子中学校　数学
② 基礎的・基本的な知識・技能の習得から活用をめざす指導の工夫
③ 知識・技能の習得から活用をめざし，「学び直しの機会」として既習の関数と $y=ax^2$ との比較やワークシートの活用を通して，変化や対応，表，式，グラフの関連などをとらえさせました。

① 佐藤大作　大網白里町立白里小学校　外国語
② 英語の音に対する意識と聞き分ける力を育む外国語活動－英語の音に慣れ親しむ「音遊び指導」を通して－
③ 外国語活動２年間で「音遊び指導」に計画的・継続的に取り組めば，多くの音素を認識できるようになり，中学校で「発音と綴りの関係」を学ぶ際に役立つことを提言しました。

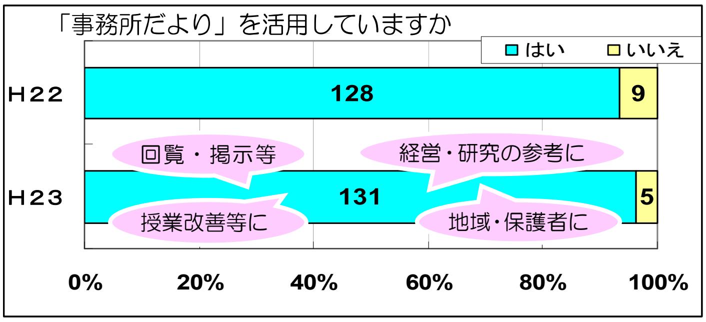
① 桐島　俊　芝山町立芝山中学校　特別活動
② 自然体験活動の教育効果に関する一考察　－中学校「自然体験学習」（２泊３日）の事例を通して－
③ 中学校で実施されている２泊３日の自然体験学習での事前・現地・事後調査を通して，学級の集団凝集性や生徒の内面などの変化を統計的にまとめ，自然体験活動の教育効果を検証しました。

① 吉田　浩　東金市立西中学校　生徒指導・教育相談
② 規範意識を育む生徒指導の在り方　－学級風土質問紙を用いた学級理解に着目して－
③ 学級風土質問紙を用いて学級担任へのアセスメントを行うとともに，心理教育の視点を取り入れた授業を通して，生徒相互の人間関係を醸成し規範の内面化を図る指導の在り方を提言しました。

① 髙橋祐子　茂原市立豊岡小学校　教育臨床
② 学校不適応児童生徒を継続的に支援していくための引継ぎと受け入れの在り方
③ 幼稚園・保育所教育から高等学校教育までの児童生徒の引継ぎの実態を調査した結果から，児童生徒の支援に生かせる引継ぎの在り方を検討し，「児童生徒支援引継ぎシート」を作成しました。

① 長谷川千草　大網白里町立増穂北小学校　特別支援教育研修（言語障害）
② 構音に誤りのある児童の指導についての一考察－通常学級担任と保護者との連携を通して－
③ 構音の誤りを改善するため，児童の全体像を捉える実態把握，ＭＦＴを活用した舌のトレーニング，通常学級担任と保護者との連携による構音面と心理面の支援の有効性を明らかにしました。

ご愛読ありがとうございました。

早いもので，今年度も残りあとわずかです。「事務所便り」も，今号が最終号となりました。次年度以降も，右図のようなアンケート結果を踏まえ，より充実した紙面作りに努めます。

一年間のご愛読ありがとうございました。